

# まちの声



今回の「まちの声」は、10区にお住いの齋藤勇治さんにお話を伺いました。



**Q** 議会だよりを読んでいますか？

**A** 議会だよりは、毎回目を通しています。議会の傍聴はまだ一度もありませんが、農家も息子に世代交代し、いくらか時間を作れるようになったので、家内と二人で今度、議会傍聴に行ってみようかと、話していたところで、紙面で見ると一般質問より

やはり生の声で議員さんの質問や理事者の答弁を聞きたいと思っています。紙面では出せない緊張感があるのだろうと思います。



**Q** 妹背牛町は住みやすいですか。また、これからの妹背牛町についてどう思いますか。

**A** 妹背牛町は地震や津波等自然災害の非常に少ない町で、住みやすいと思っています。年間通じて楽しいイ

ベントも沢山あり私たちも毎年楽しく参加しております。いい温泉もあるし、もっと町外の人にこの町の良さをアピールしてほしいと思います。

**Q** 議会だよりにご要望等ありますか。また、何かあれば一言

**A** まちの声、良いコーナーだと思います。人口減少が問題の町です。このコーナーのインタビューを、若い人たちにも是非してもらい、町のいろんなことを、語ってもらっては如何ですか。

◎ 3月定例会のお知らせ ◎

会 期 3月9日～17日

一般質問 3月10日

9時からの予定です

場 所 役場3F 議場

## 編集後記

令和3年も早2月半ばになりました。昨年は、新型コロナウイルスが社会を席卷し、あらゆる行事や会合の機会が失われました。議会におきましても1市4町での中央要望や、研修視察などが中止となりました。今年も年明け早々に首都圏1都3県に緊急事態宣言が発令され、北海道においても感染拡大の状況を見極めつつの生活が続いています。広報1月号で議長が述べられていたように、一日も早くワクチン接種が完了し、当たり前の日常が戻ってくるのを願うばかりです。私たち議員も町政の両輪としてより一層努力してまいります。また、議会改革に関しましては、協議を重ねながら、より良い議会を目指していきたいと思っています。この議会だよりを通し、私たちの活動をお伝えするとともに、今後も皆さまの声をお聞かせいただきながら多くの方に読んでいただけるように努めていきたいと思っています。



### 広報特別委員会

- 委員長 佐々木和夫
- 副委員長 田中 春夫
- 委員 渡辺 倫代